

平岸まちづくり指針【概要版】

1 目的と位置付け

平岸駅周辺地区の背景と位置付け

- 平岸駅周辺地区は札幌の都心まで約4km、地下鉄でも10分以内と、都心に近く、アクセスが良い立地です。
- 「第2次札幌市都市計画マスタープラン」で「地域交流拠点」として位置付けられており、平岸駅に徒歩やバスでアクセスする地域（後背圏）の生活を支える拠点としての役割を担っています。

本指針策定の経緯と目的

- 平成29・30年度の2年間で、平岸駅周辺地区の住民、事業者、学生などが参加した「平岸未来づくりワークショップ（計6回開催）」やアンケート調査などを行い、地域の意見をお聞きして作成しました。
- 地下鉄平岸駅周辺地区におけるまちづくりの目標・方針、ルールや地域活動を定めるものです。
- 地域住民や開発事業者など、多様な主体が共有し、魅力的なまちづくりを推進することを目的としています。



2 現状と課題

平岸駅周辺地区の現状

- 人口が増加している
- 商業施設が比較的少なく、共同住宅が多い
- 少子高齢化が進んでいる
- 豊富な地域資源を有する（かつてりんご栽培地だった歴史、魅力的な店舗、精進川などの自然環境、郷土芸能である平岸天神など）

平岸駅周辺地区の課題

- 平岸通沿道などで建物の老朽化が進んでいる
- 店舗や便利施設が少なく、シンボルとなる施設が必要である
- 多くの路上駐車や路上駐輪があり、通行の支障となっている
- 高齢者や若者など、誰もが住みやすい環境づくりが必要である

地区の現状を踏まえ、課題を解決し、地域交流拠点として更なる魅力向上を図っていきます

3 対象区域

○平岸駅周辺地区の現状と課題、ワークショップにおける意見、札幌市の都市計画などを踏まえ、指針の対象区域は、右図の赤で塗られているエリアとします。

○特に、平岸通と白石・中の島通の沿道とその交差点付近は、多様な人々が往来し、魅力的なまちづくりを進める上で特に重要なエリアであるため、「重点区域」として、積極的な取組を図ります。



ワークショップでは、平岸通は地域のシンボリックな通りだという意見が多かったよ



4 目指す姿・方針

平岸の魅力とにぎわいがあふれ、新たな交流が生まれるまち

～誰もが誇りに思い、幸せが行き交うまちを目指して～



1 商店街の活力や地域資源を活かしたにぎわいがあふれ、楽しく散策できるまちづくり

2 地下鉄平岸駅を中心とした魅力ある沿道景観を創出するまちづくり

3 地下鉄駅周辺のにぎわいを活かす魅力あるオープンスペースで、たくさんの交流が生まれるまちづくり

4 若い世代をはじめとし、多世代・多様な人が行きたくなる、住みたくなるまちづくり



5 目指すべきまちづくりを実現する取組

ワークショップやアンケートにおける地域の意見に基づき、まちづくり活動とまちづくりのルールを定めます。

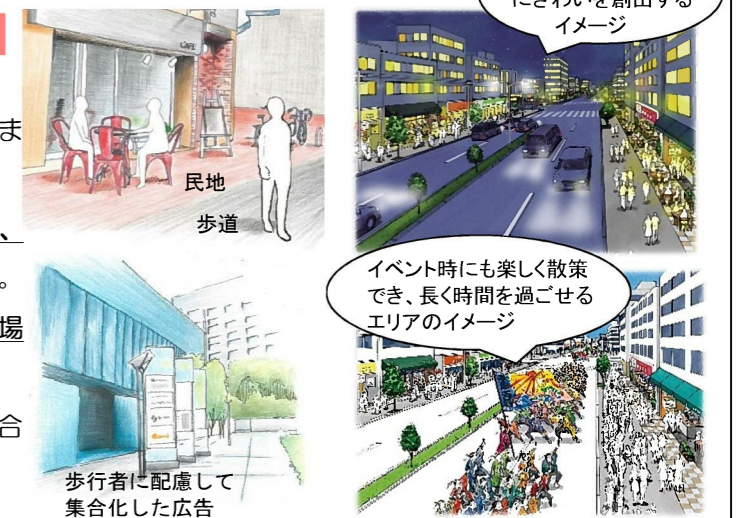
地域で取り組むまちづくり活動（一部抜粋）

- ① 交流の場の創出
オープンスペースを交流の場やイベントの場として積極的に活用する。
- ② 平岸らしさの創出
地域資源を活用した多世代交流の促進、地域を盛り上げる新たな名物の創出、活用を推進する。
- ③ 地域活動の促進
子どもや若者などによる沿道の美化活動の推進や、SNSを活用した情報発信を行う。



地域の魅力を高めるまちづくりのルール（一部抜粋）

- 通りに面する建築物等はできるだけセットバック（後退）し、安全な歩行空間や休憩できる滞留空間などを確保しましょう。
- 平岸通や白石・中の島通に面する建築物の1階部分には、店舗などの人が集まる用途を導入するよう努めましょう。
- 多くの人々が利用する施設等には、適宜、駐車場や駐輪場を設けるようにしましょう。
- 複数の看板等の設置が想定される場合は、できるだけ集合化を図り、歩行空間の安全性に配慮しましょう。



平岸まちづくり指針【概要版】

令和元年（2019年）5月発行

編集・発行 札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

電話：(011) 211-2545 FAX：(011) 218-5113

URL：https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kyoten/hiragisi.html（指針本編も掲載されています）



さっぽろ市
02-B03-19-829
31-2-635